

①順調20 ②おおむね順調9 ③遅延0
④保留・中止1 ⑤未着手3 合計33措置

調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の取組状況

調査研究・保存・活用の課題	方針	No.	措置(事業)名	事業概要・業務内容	課名	令和4年度の取組状況	「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】			「③遅延」「④保留・中止」の理由 「⑤未着手」の取組開始時期	令和5年度の主な取り組み
							予算等の事業名	取組状況及び成果	活用する補助金・交付金名		
調査研究 ・文化財の内容や価値を把握するための調査の推進	①系統的かつ計画的な調査による文化財の価値の把握と掘り起こし	1	「文化財カルテ」の作成	文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	文化財環境整備事業	・文化財の類型に応じた様式を作成し、仏像・神像調査等の調査結果を順次登録を進めている。	—	—	
		2	博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	歴史博物館管理運営経費	・寄贈の受け入れ、収蔵庫・展示室の環境管理、企画展の開催等、随時行っている。 ・新たに歴史博物館に寄贈された、和泉地区川合の平野治右衛門家に伝来した甲冑を、同甲冑の鎧櫃に収められていた関係文書とともに企画展として期間限定で展示した。 ・寄贈受入の是非について打診を受け、散逸防止を目的として受入に向けて協議を行った。令和5年度の受け入れを目指して調整を進めている。	—	—	
		3	郷土資料の購入	郷土に係る資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	歴史民俗資料購入事業	・販売目録を確認し購入について検討した結果、令和4年度に購入が必要な資料は無かった。	—	—	
		4	文化財の調査の実施	調査未実施の文化財について、所在及び現状を把握するための調査を実施します。把握調査結果は、詳細調査の要否や優先順位、実施時期や方法についての検討資料とします。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境整備事業	・富田地区で「道標地蔵」と通称される石像を調査し、付近を通る美濃街道とは関係していないことを明確にできた。 ・専門家とともに神社1件の神像等105点を調査し、所見を得た。 ・市内寺社において所蔵される仏像神像の現状調査を186件行い、126件の回答を得、今後、現地調査を進めるための資料とすることができた。また、そのうち2件の現地調査を行い、調査結果を報告した。 ・東京大学、国立科学博物館等とともに恐竜歯化石の解析調査の成果をまとめ、論文が国際学術雑誌に掲載された。 ・福井県立恐竜博物館とともに未調査だった東アジア初の種類となるジュラ紀オウムガイ化石の研究成果をまとめ、論文を学術誌に投稿した。	—	—	・仏像神像アンケートに基づき、地区ごとに現状調査を進めていく。調査結果は随時、所有者へ報告する。 ・令和5年度が、中部縦貫自動車道の化石調査の最終年度となるため、現場での収集や調査を完了し、研究を進めていく。
		5	『奥越史料』の発刊	郷土の歴史や自然などについて執筆された論文をまとめた冊子『奥越史料』を発刊します。	生涯学習・文化財保護課	⑤未着手	奥越史料発刊事業	—	—	令和5年度発行予定	
保存 ・文化財保護を担う後継者の減少 ・歴史的建造物などの管理放棄によるき損や滅失 ・地域の防犯・防災対応の弱体化	②指定文化財の価値の再把握や未指定文化財の指定など ③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑧文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討	6	文化財の指定や登録	文化財の調査によって得られた結果に基づいて、価値の再把握や新たな文化財の指定に取り組みます。あわせて、国の文化財登録原簿への登録の提案を積極的に行い、ボトムアップによる未指定文化財の保護を推進します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境整備事業	・12年ぶりに、新たに市指定文化財(建造物)「伝大野城式台前門(喜多山家長屋門)」を1件指定し、合計106件の市指定となった。 ・文化財調査の結果に基づき、資料の管理者に対し、文化財指定について打診を行っている。	—	—	
		7	指定文化財の維持管理	指定文化財を良好な状態で管理し、保存を図るための計画づくりや補修、清掃などの維持管理を行います。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	文化財環境整備事業	・市が所有する国重要文化財「旧橋本家」の維持管理や放水銃の状況調査、「佐開遺跡」、市指定史跡「朝倉義景墓」の清掃等を行い、適正に管理している。 ・県指定有形文化財(建造物)である南専寺山門の修理事業(報告書作成)について、指導や助言を行い、修理を完了した。	—	—	
		8	指定文化財の保存修復	指定文化財の保存修理と保存整備を行います。	生涯学習・文化財保護課 環境・水循環課	②概ね順調	文化財環境整備事業	・県指定有形文化財(建造物)である南専寺山門の修理事業(報告書作成)について、指導や助言を行い、修理を完了した。 ・環境・水循環課において、国庫補助及び県補助を受けて、国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」のガイダンス施設「本願清水イトヨの里」の展示改修工事等を実施し、3月リニューアルオープンした。	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業	—	令和5年度も国及び県の補助を活用し、「本願清水イトヨの里」の整備を実施
		9	市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館(市指定)を適正に管理し、一般公開します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	民俗資料館管理運営経費	・適正に維持管理し、一般公開している。 ・多くの人に学び楽しんでいただけるよう、見やすくわかりやすい展示を念頭に、民俗資料館の展示替えを行い、解説を充実させた。また、リーフレットを一新し、月ごとに変わる民具カードの配布を開始し、入館者数は2,501人(H3 2,028人)となり、前年度より23%増加した。	—	—	
		10	指定文化財の保存修理に対する支援	指定文化財の修理事業の支援を行います。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境整備事業	・県指定有形文化財(建造物)である南専寺山門の修理事業(報告書作成)について、指導や助言を行い、修理を完了した。また、県とともに修理費用を支援することで、文化財の保存にかかる所有者の負担を軽減させ、後世に守り伝える後押しとした。	—	—	

①順調 20 ②おおむね順調 9 ③遅延 0
④保留・中止 1 ⑤未着手 3 合計 33 措置

調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の取組状況

調査研究・保存・活用の課題	方針	No.	措置(事業)名	事業概要・業務内容	課名	令和4年度の取組状況	「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】			「③遅延」「④保留・中止」の理由 「⑤未着手」の取組開始時期	令和5年度の主な取り組み
							予算等の事業名	取組状況及び成果	活用する補助金・交付金名		
保存 ・文化財保護を担う後継者の減少 ・歴史的建造物などの管理放棄によるき損や滅失 ・地域の防犯・防災対応の弱体化	②指定文化財の価値の再把握や未指定文化財の指定など ③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑧文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討	11	文化財防火訓練・査察の実施	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練と防火査察を実施します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	文化財保護審議会経費	・2者が所蔵する文化財4点について、文化財保護審議委員とともに防火査察を行った。 ・文化財防火訓練については、福井県感染拡大警報（新型コロナウイルス）発令中であったため、消防署の意向により中止した。	—	—	
		12	指定文化財の保護パトロールの実施	指定文化財の状態の把握と破損の早期発見を目的としたパトロールを実施します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・指定文化財のパトロールを行い、風雪害等による被害把握に努めた。	—	—	
		13	「大野市地域防災計画」の推進	各種災害に対する日常的予防や被災時の対応、防災体制づくりなど、市民の生命及び文化財を含む財産を守るための事業実施を推進します。	防災防犯課	②概ね順調	防災対策経費	・総合防災訓練、災害対策本部会議の実施を通して、運営体制の確認を行った。	—	—	
		2	博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	歴史博物館管理運営経費	・寄贈の受け入れ、収蔵庫・展示室の環境管理、企画展の開催等、随時行っている。 ・新たに歴史博物館に寄贈された、和泉地区川合の平野治右衛門家に伝来した甲冑を、同甲冑の鎧櫃に収められていた関係文書とともに企画展として期間限定で展示した。 ・寄贈受入の是非について打診を受け、散逸防止を目的として受入に向けて協議を行った。令和5年度の受け入れを目指して調整を進めている。	—	—	
		3	郷土資料の購入	郷土に関する資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	歴史民俗資料購入事業	・販売目録を確認し購入について検討した結果、令和4年度に購入が必要な資料は無かった。	—	—	
		14	文化財標柱の設置	指定文化財やその他の城跡、古墳などがある場所に文化財の名称や概要を表示した標柱を設置します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境保全事業	・「内山良休墓」標柱を更新した。	—	—	
		15	「おおの遺産」の認証	「おおの遺産」の候補の調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組みます。	生涯学習・文化財保護課	①順調	伝統文化伝承事業	・新たに、寺町大宝寺の「新四国八十八ヶ所お砂踏み法要」と、小矢戸区の「水神さんの参詣」2件の年中行事を「おおの遺産」に認証し、合計23件の認証となった。	—	—	おおの遺産の認定を目指し、候補の行事について、情報収集し調査を進めていく。
		16	無形民俗文化財の保存育成に対する支援	大野市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	無形文化財保存育成事業補助	・市内の無形民俗文化財保存を行う6団体に対して補助金を支出した。 ・市内の無形民俗文化財保存団体による保存・継承のための活動を把握し、補助金以外の支援の是非について検討資料とした。	—	—	
17	生涯学習推進計画の事業の推進	伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の課題解決に関する学習を進めます。	生涯学習・文化財保護課	②概ね順調	いきいきわくわく学習事業	・公民館講座や放課後子ども教室において、踊りの伝承教室を11回開催し、延べ115人の参加を得た。	—	—			

①順調 20 ②おおむね順調 9 ③遅延 0
④保留・中止 1 ⑤未着手 3 合計 33 措置

調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の取組状況

調査研究・保存・活用の課題	方針	No.	措置(事業)名	事業概要・業務内容	課名	令和4年度の取組状況	「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】			「③遅延」「④保留・中止」の理由 「⑤未着手」の取組開始時期	令和5年度の主な取り組み	
							予算等の事業名	取組状況及び成果	活用する補助金・交付金名			
活用 ・より幅広い文化財を活用する方法の検討 ・文化施設に限らずさまざまな施設での文化財の活用	③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ④児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑦観光と地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討	9	市指定文化財「大野民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野民俗資料館(市指定)を適正に管理し、一般公開します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	民俗資料館管理運営経費	・適正に維持管理し、一般公開している。 ・多くの人に学び楽しんでいただけるよう、見やすくわかりやすい展示を念頭に、民俗資料館の展示替えを行い、解説を充実させた。また、リーフレットを一新し、月ごとに変わる民具カードの配布を開始し、入館者数は2,501人(H3 2,028人)となり、前年度より23%増加した。	—	—		
		16	無形民俗文化財の保存育成に対する支援	大野市内に伝わる踊りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	無形文化財保存育成事業補助	・市内の無形民俗文化財保存を行う6団体に対して補助金を支出した。 ・市内の無形民俗文化財保存団体による保存・継承のための活動を把握し、補助金以外の支援の是非のについての検討資料とした。	—	—		
		18	小学生の郷土芸能の体験	小学生を対象に、踊りや里神楽、太鼓など地域に伝わる郷土芸能に親しむ機会を作ります。	生涯学習・文化財保護課	④保留・中止	いきいきわくわく学習事業	—	—	—	コロナ禍により、各地区の児童が郷土芸能の練習ができず、ふるさと芸能発表会が開催できなかった。 ・公民館講座や放課後子ども教室で、踊りの伝承教室を開催する。 ・ふるさと芸能発表会を開催する。	
		19	子ども向け歴史イベントの実施	史跡めぐりや、古文書体験など歴史イベントを実施します。また郷土の歴史調べなどに協力します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	民俗資料館管理運営経費 歴史博物館管理運営経費	・「図書館まつり」と共催し、歴史博物館で、くずし字に親しむイベント「うぐいーからの挑戦状 なぞの文字をよめるかな？」を実施し、125人の参加を得た。 ・小中学校の郷土学習としての博物館施設見学に対し、学芸員による解説を11校311人に対し行った。 ・歴史文化施設を核とした市民向け周遊企画を立案し、関係施設担当者へ実施に向けた検討を行った。	—	—		
		20	文化財の出前授業の実施	小・中学生を対象に、学校を訪問して文化財に関する授業を行ったり、実際の文化財を見ながら解説したりします。	生涯学習・文化財保護課	⑤未着手	文化財環境整備事業	—	—	—	令和4年度に準備し、令和5年度より実施する。	小・中学生を対象に、学芸員が、歴史や文化財、化石などの出前授業を実施する。
		21	児童生徒による文化財情報の発信活動の実施	児童・生徒が地域の自然や文化、歴史、偉人、観光資源などについて学習し地域の課題解決などの内容を企画・提案する学習を行います。また学習成果はCMコンテストに応募して発信を行います。	教育総務課	①順調	ふるさと大野かがやき隊事業	・全ての小中学校が総合的な学習の時間等において、地域の魅力や課題をテーマに探求活動を行っている。 ・令和3年度～7年度において、県の「ふるさとの魅力発信推進事業補助金」を活用し、毎年2～3校ずつ5年間で全14校が「ふるさと大野かがやき隊事業」を実施予定。R4年度は上庄小学校、上庄中学校の2校が取り組み、ふるさとの魅力発信CMを作成。「ふるさと福井CMコンテスト」に応募し、上庄小学校では5、6年生が優秀賞を受賞、上庄中学校では1作品が入賞した。	ふるさとの魅力発信推進事業補助金	—	—	令和5年度も、児童・生徒が地域の自然や文化、歴史、偉人、観光資源などについて探究し、地域の魅力や課題解決などの内容を企画・提案する学習を行う。学習成果はCMコンテストに応募するなど、広く発信する。
		22	文化財情報の発信	文化財のさまざまな情報を、ホームページやパンフレット、冊子などにまとめ情報発信します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境整備事業 化石保全活用事業	・市指定史跡「朝倉義景墓」パンフレットについて、説明を整理し、フリガナを付け、わかりやすい内容に更新した。 ・民俗資料館パンフレットについて、フリガナを付けるとともに、説明を整理し、クイズを解きながら見学できるようにするなど、わかりやすく楽しめる内容に更新した。 ・文化財を火災から守る「文化財防火デー」の取り組みや、大野の郷土食として100年フードに認定されている「半夏生さばの食文化」を生かしたイベントをホームページに掲載し、文化財の保存や活用についての取り組みを発信した。 ・「伊月化石壁」の地層が堆積した当時の環境を示す復元画を制作し、展示や講座等に活用した。 ・東アジア初の種類となるジュラ紀アンモナイト「エピストレノセラス」に関するホームページを作成し、本市が貴重な化石の産出地であることを発信した。	—	—		
		23	特別展・企画展の開催	歴史博物館において、郷土の歴史や文化財をテーマにした特別展・企画展を開催します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	歴史博物館管理運営経費	・新たに歴史博物館に寄贈された、和泉地区川合の平野治右衛門家に伝来した甲冑を、同甲冑の鎧櫃に収められていた関係文書とともに企画展として期間限定で展示した。また、本市で産出された、テタヌラ類やティラノサウルス類、イグアノドン類の歯化石について期間限定展示を行った。 ・市内博物館で連携し、「星」をテーマにした収蔵資料紹介展を行った。	—	—	企画展「美しい世界の動物園」 くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展 「九頭竜湖の隠れた化石産地」	
24	博物館資料の展示品の解説の充実と体験機会の創出の実施	博物館の展示資料について解説を充実させるとともに、実物に触れたり、使ってみたりなどの体験できる展示を行います。	生涯学習・文化財保護課	①順調	民俗資料館管理運営経費	・民俗資料館の展示解説をすべてわかりやすくリニューアルした。リニューアルの際、民俗資料館の和室を「あそぶ」をテーマに、こま回し等、昔の遊びを体験できる部屋にした。 ・文化の日に合わせて、民俗資料館で、民具(糸車)体験イベントを実施し15人の参加があった。 ・「図書館まつり」と共催し、歴史博物館で、くずし字に親しむイベント「うぐいーからの挑戦状 なぞの文字をよめるかな？」を実施し、125人の参加を得た。	—	—				

①順調 20 ②おおむね順調 9 ③遅延 0
④保留・中止 1 ⑤未着手 3 合計 33 措置

調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の取組状況

調査研究・保存・活用の課題	方針	No.	措置(事業)名	事業概要・業務内容	課名	令和4年度の取組状況	「①順調」「②おおむね順調」「③遅延」【H列で①②③を選んだ場合】			「③遅延」「④保留・中止」の理由「⑤未着手」の取組開始時期	令和5年度の主な取り組み
							予算等の事業名	取組状況及び成果	活用する補助金・交付金名		
活用 ・より幅広い文化財を活用する方法の検討 ・文化施設に限らずさまざまな施設での文化財の活用	③維持管理や修復、所有者の防災への意識の醸成、防災プランの作成と被災時の体制整備 ④児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑦観光と地域づくりを活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討	25	古文書資料の活用	収集した古文書史料を一般に公開し、市民や学校、研究機関などが活用しやすいようにします。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財保護事務経費	・図書館内で古文書史料及びその解説を展示した。 ・複製資料本の一般公開を準備した。	—	—	
		26	文化財の一般公開	普段はなかなか見ることができない民間所有の文化財の一般公開を行います。	生涯学習・文化財保護課	⑤未着手	歴史博物館管理運営経費	—	—	令和5年10月公開予定	
		27	SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した情報発信	文化財の保護活動や公開、イベントなど、文化財に関するさまざまな取り組みをFacebookやスマートフォンのアプリを活用して発信します。	生涯学習・文化財保護課	①順調	文化財環境整備事業 歴史博物館管理運営経費	・博物館講座のYouTubeライブ配信を4回行った。 ・市公式LINEでイベント情報を発信した。 ・文化財に関わる情報をFacebookで7回発信した。	—	—	
		28	越前大野城の維持管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンブラーや御城印などイベントに対応します。	観光交流課	①順調	越前大野城管理運営経費	・施設を良好な状態に維持した。 ・R4年度から施設管理を観光協会に委託し、大野城からまちなか観光への積極的な誘導と、御城印や限定御朱印帳、観光グッズ等の販売を行っている。 ・冬季のイベント「越前おおの 冬物語」では、天守から冬の打ち上げ花火を見る取組を行った。 ・観光協会と連携し、おおの城まつりの期間に合わせて、越前大野城の夜間開館と石垣広場でのナイトイルミネーションと提灯散策を実施した。	—	—	・大野市のシンボルである越前大野城をさらに魅力的にするため、展示品の展示方法を見直し、また館内に装飾を施し、来館者の満足度向上を図る。3年計画の2年目。 ・越前大野城をメインテーマにした文化財を楽しむ対談会を9月に開催する。伝統芸能を披露するアトラクションも行う。
		29	登録有形文化財の観光活用	平成大野屋本店洋館(国登録)・二階蔵(国登録)・平蔵(国登録)をまちなか観光の拠点として適切に活用します。	観光交流課	①順調	越前おおの結ステーション管理運営経費	・施設を良好な状態に維持している。	—	—	
		30	文化財の発信プロモーションの取り組み	文化財の情報をメディアやPR広告などにより発信する取り組みを行います。	産業政策課	①順調	魅力発信プロモーション事業	・越前おおのブランド並びにターゲット及び媒体の選択と集中により、市内事業者の「稼ぐ力」の向上につながる情報発信を実施した。	—	—	
		31	地域資源のブランド化の推進	これまで築いてきた越前おおのブランドを磨き上げ、各産業分野で稼ぐ力に具現化するため計画を推進します。	産業政策課	①順調	越前おおのブランド活用事業補助	・越前おおのブランドを活用した商品の開発や販路拡大に向けた市内事業者の取組14事業に補助し、「稼ぐ力」の向上を図った。 ・民間事業者により、「重機パーク in 越前おおの」や「城下町キャラバン」、「春を彩る越前おおのひな祭り」など、大野の強みや越前おおのブランドの魅力を生かした事業が実施され、市内外から多くの来場者があり、多くの小売・飲食店で商品が完売するなど、事業者の「稼ぐ力」の向上に寄与している。	—	—	越前大野城をはじめとする様々な越前おおのブランドの情報などメディアや広告などにより情報発信を行う。 また、「越前おおのブランド活用事業補助」や「七間朝市にぎわい創出事業補助」などの事業により支援することで、市内事業者の「稼ぐ力」の向上やまちなかの賑わい創出に繋げていく。 さらに、令和5年度は、新たに「まちなかにぎわいづくりVR体験事業」として、越前おおのブランドの一つである、「天空の城 越前大野城」をVR動画で模擬体験できるコーナーをまちなかに開設する。
		32	古民家ギャラリーの活用	小コレクター運動などの絵画の展示と企画展を開催します。	地域文化課	①順調	COCONOアートプレイス管理運営経費	・小コレクター運動により市民が手にした絵画を展示する常設スペースの展示替えのほか、市内在住作家、民間事業者、県内在住作家、開館5周年記念の企画展を開催した。	【県】市町協働による地域みらい応援プロジェクト補助金	—	・常設展として、小コレクター運動により市民が手にした絵画の展示 ・開館5周年を記念した著名人の絵画展のほか、県内在住の作家による企画展やワークショップの開催 ・民間事業者の持つアイデアやノウハウを活用した企画展を継続して実施 ・まちなかでだれもが気軽にアート活動ができる場を開放
		33	公共交通の維持とまちづくりへの活用	公共交通機関の利便性を向上させるとともに、利用のきっかけとなるイベントを実施することで、利用促進を図ります。	交通住宅まちづくり課	②概ね順調	市内路線バス等運行事業、地域で支える越美北線事業、地域で住み続けられる公共交通検討事業、広域路線バス運行事業補助	・JR越美北線、広域路線バス、市内公共交通の利用促進に取り組むとともに、市内公共交通の利便性向上に向けた再構築を進めている。	—	—	